

目次

0. 早大生の声 p.2
1. 性的同意ってなに？ p.3
2. 性的同意6つの原則 p.5
3. なぜ早大生にとって性的同意は大事なの？ p.7
4. それってホント？性暴力4つの誤解 p.8
5. さまざまな属性と性暴力 p.9
性的マイノリティ、障害者、子ども、外国人
6. みんなで被害を止める早稲田をつくる p.11
「5つのD」
7. 性暴力に遭ったら p.14



このハンドブックを手にとってくれた人へ

性的同意？性暴力？なんだそれ、関係ないって思ったりしていませんか？実は、私たちが2021年6月に早大生を対象としたアンケートでは、回答者の約半数がハラスメントや性暴力を経験していることが判明しました。

もう誰も、被害者にも加害者にもしたくない。性暴力を根絶したい！そういう思いでこのパンフレットをつくりました。性に関するモヤっとしたことや相談したいことがあったら学内外の相談機関に是非足を運んでみてください。

そして、被害に遭った人へ。

あなたに落ち度はありません。私たちはあなたの味方です。 制作チーム一同

早大生の 声

5, 6ページの「性的同意6つの原則」を確認しながら、何が問題なのか考えてみましょう！

好きな人に嫌われたくないから、自分が嫌と思ったことでもNOと言いつらい...

勉強を教えてくれるとって先輩に誘われ何度も会っているが、指導どころか自分の見た目や性的指向についてしつこく聞かれる

気分じゃなかったが、パートナーから誘われて断り切れなかった...

先生から、突然「付き合っほしい」と言われた!?

大きなサークルの飲み会で「伝統なんだから酒を飲め、服を脱げ」と先輩から強制された

これらが全て、**性暴力**に関わることだとしたらどう思いますか？

重要なコンセプトとなる「**同意 (consent)**」を、

次のページで紹介します。

1.性的同意ってなに？

性的同意とは、**すべての性的な言動において取られるべき同意**のこと。

身体的な接触をする時はもちろん、性に関する話題を話す時も性的同意は必要です。

身体的な接触

- ・キスをする時
 - ・性行為をする時
 - ・ハグをする時
 - ・手をにぎる時
 - ・肩を組む時
- 例) 紺碧の空を歌う

性に関する話題

(恋ハナ・下ネタ) を話す

- ・パートナーの有無を聞く時
例) 彼氏 / 彼女いるの？
- ・性体験を聞く時
例) 初体験いつ？
- ・性自認 / 性的指向などを聞く時

※話したくない人もいます。
不必要に聞かないようにしましょう

同意がなければ、バウンダリー（個人の境界線）の侵害にあたり、性暴力になります！

バウンダリー：自分が安心して健康でいられるために、自分が設定する人との心理的 / 物理的境界線のこと

あなたが不快に思う言動はなんでしょう？



性的同意が取られていない。
性的な言動はすべて
性暴力です！

早大生278人に聞きました

意外と身近！ 早大生と性暴力^{※1}

性差別・性的な
コメントや質問・冗談を
言われた



不快に感じるほど
じっと見つめられた

歓迎していない
スキンシップを取られた
(からだを触る・ハグ・キスをする
通り道をブロックするなど)



同意なしに
セックスをされた

不適切な性的な
内容をメールや、留守番電話、
ソーシャルメディアで言われた

性・ジェンダー・
セクシュアリティを
もとに根拠のない決めつけを
された

デートやセックスを
せがまれた



これらを一つでも経験したことのある

早稲田大学関係者はなんと！回答者の **46.8%** ^{※2}

大学生活のなかで何らかの性暴力を受けることは、まったく珍しいことではありません。でも、みんなが他人のバウンダリー(個人の境界線)を尊重できたら、あなたや他の誰かが性暴力の加害者・被害者になる可能性を減らすことができます。

自分を守るためにも、他人を傷つけないためにも「性的同意」を学んでいきましょう！

性的同意の6原則は
次のページをチェック！

※1 調査団体: Voice Up Japan Waseda 対象: 学生・教職員・卒業生(278回答) 日本語回答: 264 英語回答: 14
調査期間: 2021年6月1日~6月31日 質問数: 計119問(選択回答17問・自由回答2問) 質問方式: Google Form
インセンティブはなく、スノーボールサンプリングをしたため、性的同意関連トピックに意識の高い人からの回答が多いことが想定される。

※2: 下記質問への回答者の合計数

「あなたに対して、大学入学・所属して以降、今まで大学関係者(学生、教職員、卒業生などの)誰かが、以下のような行動をとったことがありますか？」

選択肢: 不快に思わせるほどじっと見つめる/性・ジェンダー・セクシュアリティをもとに根拠のない決めつけをする/歓迎していないスキンシップを取る(からだを触る・ハグ・キス・通り道をブロックするなど)/デートやセックスをせがむ/同意なしにセックスをする/不適切な性的な内容を、メールや、留守番電話、ソーシャルメディアでいう/その他自由記述での回答有り

2.性的同意 6つの原則

性的同意はこの6つの原則がすべて守られているときに成立します！



1 対等な関係であること

目上の人（先輩、教師、コーチ、上司など）の誘いを断ることで、起こり得る悪影響を恐れ、NOと言えない・YESと言わざるを得ない時があります。教師、コーチ、上司からの一方的な同意は成立しません！先輩・後輩の関係などの場合でも、そのことによってどちらか一方がNOと言いつづらくなっていないか、互いに常に気にかける必要があります。

2 意識がはっきりしていること

同意を取るには意識がはっきりしていることが大前提。正常な判断ができない状況（薬物やアルコールを摂取している時、疾病や障害などで意識が混濁している時など）では同意は成立しません。



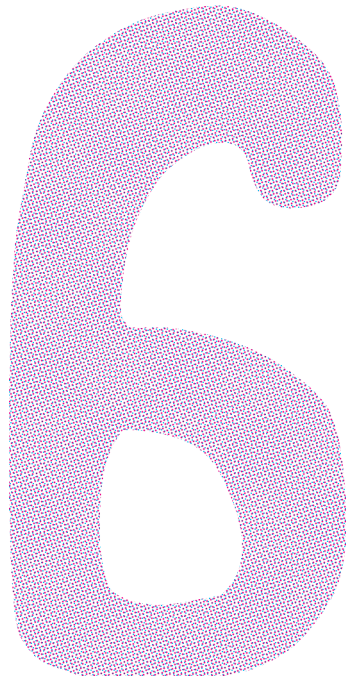
3 強制がないこと

同意とは、本人の意思で選ぶこと。プレッシャーや脅しなどの強迫行為で、相手にYESと言わせるのは同意ではないですよ！



4 十分な情報が与えられていること

同意を取るためには、性的行為の情報を相手の理解力に応じて十分に与える必要があります。「同意した内容と違う!」「それには同意していない!」というのは情報が与えられていなかったということ!



5 行動をおこす側が積極的な Yes を聞く責任があること

本人の積極的な YES の同意がなければアウト!

「うーん…」などの

曖昧な言動は YES じゃありませんよ!

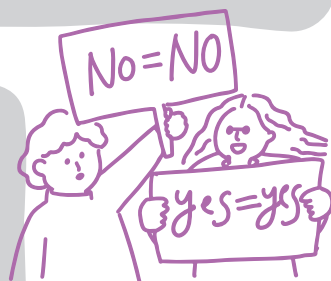
6 一回一回確認すること

一回の YES \neq 全てに YES / ずっと YES

①家に行くのは YES。でも、スキンシップやキス、性行為へも YES とは言っていない!

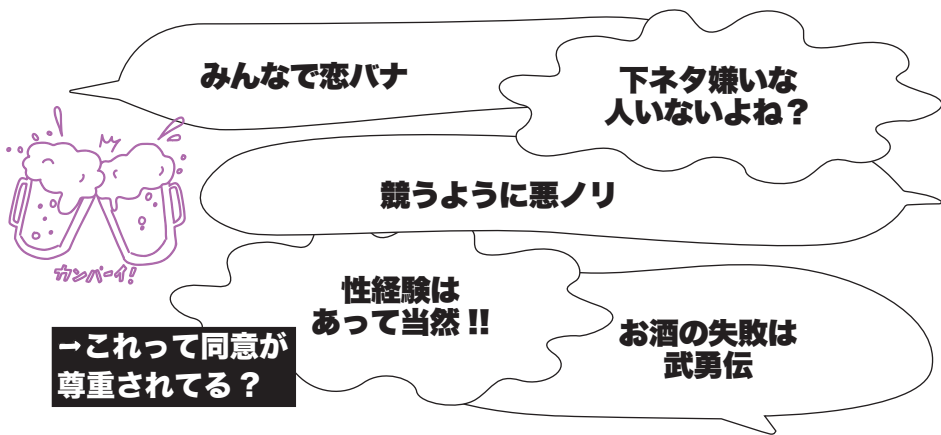
②さっき YES と言ったけれど、途中で気持ちが変わることもある!

③今日 YES と言ったからといって、明日も YES ではない!



3.なぜ早大生にとって性的同意は大事ななの？

こういうのが「大学生っぽい」って思いませんか？



「みんな」の雰囲気的大事。それを壊すのは「ノリ悪い」
内輪ノリの強制「うちのサークルの伝統だから」
… 一人ひとりの意思が尊重されないのが、
「大学生」っぽい？

コラム

知らない誰かにレイプされた訳じゃないけれど、盗撮されたり、サークル内エロい女ランキングを目の前で聞いたり、恋人から突然性交されたり … 大学生活の中で、もやもやするけれど、性暴力とっていいのかわからないことがたくさんありました。それが「性的同意」という言葉を知って「やっぱりあれって暴力じゃん！」と急に世界がクリアになりました。変なことを当たり前と思わず大学生こそ性的同意を知ってほしいです。

「大学生っぽい」
文化の中で
同意は軽視されがち!



4.それってホント？性暴力4つの誤解

誤解① 性欲は抑えられないから仕方がない

→それは加害者の言い訳であり、他人の意思を踏みにじってまで解消されるべきものではありません。

誤解② 被害者は行動や服装で加害者を「誘った」。本当は望んでいたのではないか

→行動も服装も同意の有無とは関係ありません。

誤解③ 嫌なら抵抗するはずだ

→抵抗しない=同意ではありません。

例えば身の危険を感じる状況では抵抗が困難です。5ページ「6つの原則」を確認しましょう。

誤解④ 夜道などで襲われるのが一般的なレイプだ

→知っている人からの被害が全体の9割近くです。うち恋人・元恋人によるものが約24%、職場関係と家族・親戚によるものがそれぞれ約10%を占めます。※1

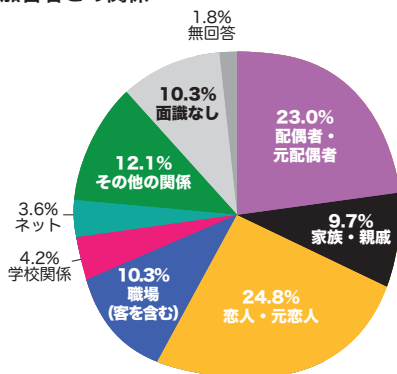
性暴力は、ゆるやかに起こります。

好意・孤独・劣等感・お金・社会的信頼 etc…。加害者はこれらを利用して上下関係をつくり、逆らいにくくさせてから性の話題を持ち出します。「自分なんかを好きになってくれるのはこの人だけ」「怒らせると怖いかも」「恋愛はこういうもの」こんな風に思わせることで巧妙に相手を閉じ込めるのです。

12ページ
5つのDをチェック！



「無理やりに性交等をされた経験について」 加害者との関係



※1 男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」無理やりに性交等をされた経験について（令和2年度調査）pp.213,214
参考：齋藤梓・大竹裕子「当事者にとっての性交「同意」とは：性暴力被害当事者の視点から望まない性交が発生するプロセスをとらえる」『年報公共政策』13(2019): 185-205.

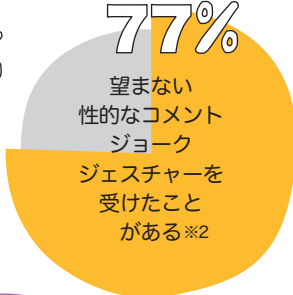
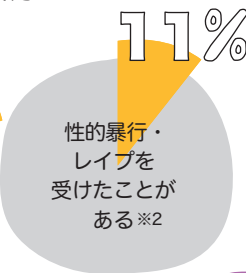
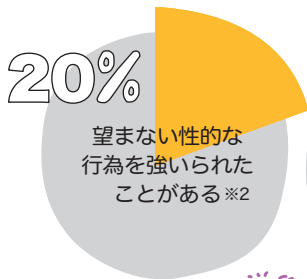
5. さまざまな属性と性暴力



あなたはどのような人が性暴力被害に
遭いやすいと思いますか？

性暴力は、属性を問わず、誰にでも起こります。ただ、社会的に弱い立場に置かれた人は被害に遭いやすかったり、見えにくかったりします。このページでは、その人の持つ属性によって性暴力被害がより複雑で深刻になりうるケースを紹介します。

【性的マイノリティ※1と性暴力】



被害を話すときに
カミングアウトが
伴うことも

適切な支援が
受けられない

被害が潜在化

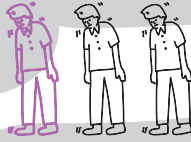
専門機関や警察の性的
マイノリティに対する理解不足が原因

※1 本ハンドブックでは、多数派と異なるさまざまな性のあり方を生きる人々を「性的マイノリティ」と総称しています。
※2 Human Rights Campaign, (2018). 2018 LGBTQ Youth Report. <https://www.hrc.org/resources/2018-lgbtq-youth-report>

【障害者※3と性暴力】

障害のために
抵抗できない

訴えても、証言が
採用されない



自身の障害が加害者の
特定をより困難に

女性障害者の3人に1人が
性暴力の被害に遭う。※4

障害者であることに、女性である
ことが加わることで困難がより深
刻なものになります。

【子どもと性暴力】

日本では
性交同意年齢が13歳

十分な性の知識がないため、
被害を認識できない

男児の場合、「男らしさ」
を求められSOSを出せ
ないことがある

過去に早大生が子どもに対する
性加害で逮捕された事例もあります。



【外国人と性暴力】



日本語に困難さがなくても、
文化の違いに戸惑うなかで
性暴力に遭う

日本語が苦手な場合、
相談窓口につながりにくい

在留許可の心配から警察
に訴えることができない

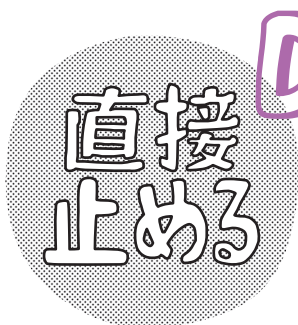
※3『障がい』を使う場合も見られますが、本ハンドブックではDPIネットワークの資料に基づき、また障害の社会モデルに基づき、『障害』を採用しています。

※4 DPI 女性障害者ネットワーク『障害のある女性の生活の困難—人生の中で出会う複合的な生きにくさとは— 複合差別実態調査報告書』（2012）

6. みんなで被害を止める早稲田をつくる

それでは、実際に性暴力の被害に遭った人や性暴力の現場に立ち会ったとき、私たちには何ができるのでしょうか。

性暴力が起こり得る場面や実際に起きてしまった場面では、第三者の行動が重要になります。ここでは介入方法を大きく5つに分けて「5つのD※1」として紹介します。状況や自分の身の安全なども考慮しながら5つの方法を組み合わせたり連続させたりして介入しましょう



Direct

もっともシンプルな介入方法が「Direct(直接止める)」です。言葉による性暴力に対しハッキリ否定をし、実際の動きを伴う性暴力には加害者を止めましょう。相手が攻撃的な場合などには注意が必要です。複数人で直接止めるアクションができると良いです。その場の空気を読んで笑って受け流す必要はありません！



Delegate

周りの責任者に対応してもらう方法が「Delegate(責任者に任せる)」です。自分の安全が守られない恐れがある場合や自分だけで対処できない場合は、駅員・警察・店員など加害者に直接注意できる人に対応を任せましょう。自分が責任者の場合はできる限り対処を試みましょう！

責任者に任せる



※1 Hollaback! "Bystander Resources" <https://www.ihollaback.org/bystander-resources/>

後から 対応する

Delay

その場では介入するのが難しい場合は、「Delay(後から対応する)」を使いましょう。

この場合、被害者をさらに傷つけないように対応することがとても重要です。まずは被害者の思いに寄り添い、否定せず受け入れましょう。8ページの4つの誤解のような決めつけで被害者を責めないようにしましょう。

性暴力の責任は加害者にあります。被害者に責任はありません。被害者が相談先を求めている場合は次の章の相談先を参考にしてみてください。



Distract

注意を そらす

直接的な介入が難しければ「Distract(注意をそらす)」が効果的です。加害者の注意をそらしたり、加害者と被害者を遠ざけることで一時的に被害を止めることができます。といっても、話題を変えたり場の雰囲気を変えたりすることは1人では難しいですね。しかし、みんなで行えば間違いを間違いだと認識させることができるかもしれません。より多くの方がアクションを起こすことが必要なのです！



記録 する

Document

しかるべき機関に対処させるときに「Document(通報する/記録する)」は重要です。記録があると警察などの機関が動きやすくなります。自分の安全を確保し行いましょう。記録を使用するときは被害者の許可を！被害者の同意なく SNS にあげるなどは絶対にしてはいけません！



これらを多くの人が行えるように自分のコミュニティ内でハンドブックを使い話し合うのも良いですね。共に安全な早稲田をつくりましょう！

周りの人が介入すれば
状況が変わっていたかもしれません。
被害をなくすために
周囲の人が動くことが重要です。

コラム：早大生の声①

酔っ払ったサークルの先輩から、先輩が舐めた椅子の上に「座れ」と言われました。すごく嫌だったので、しばらく立ったまま飲み会に参加していましたが、他の先輩も同期も誰も助けてくれませんでした。「これはセクハラだと思いますよ〜」と言っても、周囲の雰囲気は変わらず、誰も本気で取り合ってくれず、私はしばらくして椅子のフチの部分に座りました。当時、性感染症の予防啓発活動を行っていたので、セクシュアルなことをしてもいいと思われたのかもしれませんが。黙って荷物をまとめて帰ればよかったと今は思います。その時は、逃げるという選択肢が思い浮かびませんでした。



コラム：早大生の声②

「これをやったら場の空気を壊してしまうかも・・・」「真面目すぎると思われそう・・・」と考える人もいるかもしれませんが、読者の皆さんには自分の中に生じた違和感や疑問を無視してほしくありません。なぜなら、その違和感や疑問と向き合うことが、皆さん自身や周りの人の心身の安全を守ることに繋がるかもしれないからです。「これはなんかおかしいかも」「このままだと自分や友人が傷つくかもしれない」と感じたら、勇気を出して、その場から離れてみましょう。私たちは、あなたやあなたの大切な人たちが、安全で快適に過ごせる居場所を求めることを諦めないでほしい、と願っています。



7. 性暴力に遭ったら

たとえ被害に遭ってもあなたに責任は一切ありません。このページでは困ったときに相談できるホットラインや団体を紹介しています。窓口への相談をためらう場合は、1人で抱え込まず身近な人に相談してみましょう。あなたは決して1人ではありません。

【応急処置】

被害に遭った場合、被害にあった服装のまま（着替えた場合はすべての服をビニール袋などで持参し）ワンストップ支援センター又は警察に連絡してください。

また72時間以内（目安）に緊急避妊薬を飲む必要がある場合、右のQRコードから処方施設の検索が可能です。



JFPA クリニック

ワンストップ支援センター

性犯罪・性暴力の被害について、最寄りの支援センターに相談できます。

全国共通番号 #8891

→性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター一覧



男女共同参画局

【学内で相談が可能な機関】

★学生相談室（保健センター）

学生生活上のどんな悩みにも応じる相談窓口です（予約優先）。

受付時間：月～金 9:00 - 12:00 / 13:00 - 17:00

予約受付電話番号：03-3203-4449



早稲田保健センター

★法律相談（月2回の指定日）

弁護士による法律相談として、「弁護士のアドバイス」を受けることができます。

★コンプライアンス相談窓口

ハラスメントに関する相談ができます。学外窓口と学内窓口がありますので、右 QR コードで詳細を確認して相談しやすい方を選んでください。

(学外窓口) 平日 8:30～19:00 土 9:00～17:00

電話・Web フォーム・E-mail (英語・中国語対応可)

(学内窓口) 平日 9:30～17:00 Web フォーム・E-mail



コンプライアンス
相談窓口

★GS センター

早稲田大学の LGBTQ+ (性的マイノリティなど) 学生や、ジェンダー・セクシュアリティに関心のある全ての人々 (アライ含む) の居場所であり、誰もが自由に利用できるセーフ/リソースセンターです。ジェンダーやセクシュアリティに関する疑問や違和感、心配事などの相談に、専門知識がある職員がお応えします (プライバシーは守られます)。必要に応じて学内外の専門機関への橋渡しを行います。相談は、原則事前予約制です。

※開室時間等は右 QR コードから Twitter を確認してください。



GS センター

【学外で相談が可能な機関】

★Cure time

内閣府実施の SNS による性暴力被害相談窓口

月・水・土 17:00～21:00



Cure time

★特定非営利活動法人性暴力救援センター・SARC 東京

性暴力の相談はもちろん、DV、セクシュアリティの相談が可能です。

03-5607-0799(東京近辺であれば #8891 でも可)

24 時間通話無料



SARC 東京

★NPO 法人 TSUBOMI ～性暴力被害者支援～

性暴力のご相談を受け付けています。

03-5557-4042

不定期 14:00～17:00



TSUBOMI

○デート DV に遭ったら

★デート DV110 番

デート DV とは「愛してるなら、相手が自分の思い通りになるのが当然」と考え、コントロールする行動です。当事者や、周りの友人や家族や教職員からの相談を受け付けています。

火・水・木 19:00～21:00

土 18:00～21:00

電話番号：050-3204-040



デート DV110 番



一般社団法人全国
妊娠 SOS ネットワーク

○妊娠・出産・避妊・中絶について

★一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワーク

誰にも言えない思いがけない妊娠をした人への情報サイトです。



にんしん SOS 東京

★にんしん SOS 東京

03-4285-9870

電話相談：年中無休、16～24 時（受付は 23 時まで）

メールでの相談：年中無休、24 時間受付



避妊のススメ

★避妊のススメ

避妊に関する正しい知識を学ぶための情報サイトです。

全国の婦人科を検索することもできます。



HIV・検査相談 MAP

○性感染症について

★感染症・予防接種相談窓口

子宮頸がん予防（HPV）ワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般について、相談できます。

03-5276-9337

平日 9:00～17:00



セイシル



厚生労働省

○性について学びたいと思ったら

★セイシル

性の悩みにこたえるサイト。性の悩みに寄り添い、モヤモヤにこたえる web メディアです。



セイシル

About Us

本ハンドブックは、シャベルと Voice Up Japan 早稲田支部とそのほか有志で作りました！作成過程では、キャンパスにいた複数の早大生からフィードバックを募集しました。また、ジェンダー関係のゼミの学生から指摘を頂きました。ほかにも署名など、たくさんの方々のご協力を得ました。この場を借りて感謝申し上げます。



シャベル： 早稲田で性暴力の 根を切る

早稲田大学における性暴力の根絶と性について語ることを目標として活動しています！

Twitter @shaberouwaseda
HP <https://shaberuwaseda.wix-site.com/shaberu-waseda>



Voice Up Japan Waseda

キャンパス内でのジェンダー平等や多様性の理解を深めるため活動中！

Instagram @voiceupjapan_waseda
Twitter @vuj_waseda

【お問合せ】

このハンドブックへのフィードバック・感想は右のフォームからご投稿ください。その他取材等、返信を希望される方はお名前・ご所属をご明記の上、下記メールアドレスへご連絡ください。

メールアドレス consentbook.waseda@gmail.com



FB・感想フォーム

*受付は2022年8月まで

【メンバー募集中】

ハンドブックの改定/ハンドブックを用いたワークショップなど一緒に性暴力のない早稲田を作るメンバーを募集しています。関心のある方は各サークルへお問い合わせください。

【Special Thanks】

Broken Rainbow Japan岡田美穂さん
アンケート・フィードバックに協力してくれたすべての早大生